



2018年9月4日  
世界銀行  
池田泉州TT証券株式会社

## 本邦初のインドネシアルピア建てサステナブル・ディベロップメント・ボンドを通じた 社会的責任投資への取り組みについて

世界銀行（国際復興開発銀行、ムーディーズ：Aaa、スタンダード&プアーズ：AAA）及び池田泉州TT証券株式会社は、国内の個人投資家向けに発行するサステナブル・ディベロップメント・ボンド（開発途上国の持続可能な発展を支える世銀債）の販売を行いますのでその概要についてお知らせいたします。今回世界銀行が発行するサステナブル・ディベロップメント・ボンドは、期間5年のインドネシアルピア建て債券で、全額池田泉州TT証券が販売いたします。（発行額：666億インドネシアルピア 販売期間：2018年9月4日から9月26日まで）本世銀債は、世界銀行にとって初めてのインドネシアルピア建て売出し債となります。

池田泉州TT証券は、サステナブル・ディベロップメント・ボンドの社会貢献性に賛同し、世銀債を個人投資家の皆様に販売するのは、今回で4回目となります。池田泉州TT証券の設立5周年にあたり、投資を通じた社会貢献をしたいという投資家の皆様の思いと、世界銀行が開発途上国で展開するプロジェクトへの橋渡し役となり、今後も社会的責任投資を推進して参ります。

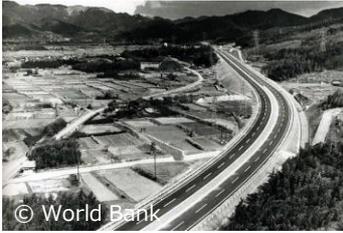
サステナブル・ディベロップメント・ボンドは、世界銀行が開発途上国の貧困削減および開発支援のために取組む、教育・保健・インフラ・行政・農業・環境等の幅広い分野のプロジェクトを支えるために国際資本市場で発行されます。世界銀行は2030年までに「極度の貧困を撲滅」し、「繁栄の共有の促進」を持続可能な形で実現することを使命としており、この2つの目標は、国連の「**持続可能な開発目標(SDGs)**」とも連携しています。「持続可能な開発目標(SDGs)」は、先進国と開発途上国が共に取り組むべき国際社会全体の目標として採択されたもので、日本政府も施策を展開しながら様々なステークホルダーと連携し、目標達成に向け積極的に取り組んでいます。

### **日本と世界銀行**

1944年に戦後の世界経済の安定と復興を目的に設立された世界銀行（国際復興開発銀行）は、1960年代に入ると、活動の焦点を開発途上国の支援に向けようになりました。日本は1952年に世界銀行に加盟し、大戦後の復興期においてインフラ再構築のためのローンを世界銀行から借りました。世界銀行の日本への最初の支援は電力分野に対するもので、多奈川発電所の建設への融資を実行。その後の支援は道路・輸送セクターが対象となり、日本初の高速道路となった名神高速、東海道新幹線、阪神高速道路といった関西地方にゆかりのある様々なプロジェクトにも融資を実行しました。関西地方では最後の案件となった1965年の阪神高速道路への融資実行後、半世紀以上を経て、日本は世界を代表する先進国として大きな成長を遂げています。世界銀行は日本の「持続可能な発展」を支えるための礎となる支援をしました。

## 世界銀行の日本のプロジェクトと現在のプロジェクトの比較（電力、道路・輸送セクター）

### ■ 日本での戦後復興プロジェクト事例

<p>関西電力多奈川火力二基 1953年10月</p>	<p>日本道路公団 高速道路 (尼崎・粟東間) 1960年3月</p>	<p>日本国有鉄道東海道新幹線 1961年5月</p>
 <p>© World Bank</p>	 <p>© World Bank</p>	 <p>© World Bank</p>
<p>詳しくはこちらをご覧ください。 <a href="http://worldbank.or.jp/31project/kansai_tanagawa/index.html#.W3J0ynIMqUk">http://worldbank.or.jp/31project/kansai_tanagawa/index.html#.W3J0ynIMqUk</a></p>	<p>詳しくはこちらをご覧ください。 <a href="http://worldbank.or.jp/31project/japan_highway1st/index.html#.W3J1FnIMqUk">http://worldbank.or.jp/31project/japan_highway1st/index.html#.W3J1FnIMqUk</a></p>	<p>詳しくはこちらをご覧ください。 <a href="http://worldbank.or.jp/31project/shinkansen/index.html#.W3J1V3IMqUk">http://worldbank.or.jp/31project/shinkansen/index.html#.W3J1V3IMqUk</a></p>

### ■ 世界銀行が現在取り組むプロジェクト事例

<p><b>パキスタン</b>：水力発電プロジェクト (融資額：4億米ドル)</p>	<p><b>アルゼンチン</b>：幹線道路建設プロジェクト (融資額：4億米ドル)</p>	<p><b>クロアチア</b>：持続可能な鉄道運営プロジェクト (融資額：1億8,340万米ドル)</p>
 <p>© World Bank</p>	 <p>© World Bank</p>	 <p>© ŽP/PUTNIČKI PRIJEVOZ</p>
<p>近年、パキスタン国内の電力需要は急速に増加していますが、供給が追いついておらず、電力供給量の不足が大きな課題となっています。本プロジェクトは、世界的にも大規模なダムの一つで、パキスタン国内の16%の電力を供給しているタルベラダムの発電能力向上を支援しています。具体的には、パキスタン国内の電力資源の割合を、コストの高い輸入石油を燃料とした火力発電からよりクリーンで環境にやさしい電力資源へシフトし、現在の水力発電能力を1,410メガワット増加させることを目指します。</p>	<p>アルゼンチン北部は、住民750万人の73%が貧困層という国内で最も未開発で貧しい地域の一つです。この地域では20%の道路だけ舗装されており、道路の状態は全国平均を下回っています。本プロジェクトでは、同地方の主要な地点を結ぶいくつかの幹線道路の整備と舗装を実施し道路の機能を向上させ、道路管理手法を改善することで、地域の人々の交通費の負担削減を目指します。また、地域や人々の融合や交流を高めながら、同時に観光業の発展にも寄与することを目指しています。</p>	<p>クロアチアの公共鉄道部門は、EU法やEU基準への適合のため、ここ10年間に大きな制度改革を進めてきました。しかし、これらの改革は重要ではあるものの、クロアチアの公共鉄道が大規模で競争の激しいEU内の運輸・物流市場で生き残り、成長していくためには十分ではありません。同国の鉄道部門の生産性は依然として劣位であり、持続可能で競争力のあるものにするためには、さらなる効率的な対策が必要です。本プロジェクトは、3つの鉄道会社が財務的に持続可能な方法でより良いサービスを提供できるよう、業務効率と財務状況を改善することを支援します。</p>
<p>詳しくはこちらをご覧ください。(英文)： <a href="http://projects.worldbank.org/P115893/tarbela-fourth-extension-hydropower-project?lang=en&amp;tab=overview">http://projects.worldbank.org/P115893/tarbela-fourth-extension-hydropower-project?lang=en&amp;tab=overview</a></p>	<p>詳しくはこちらをご覧ください。(英文)： <a href="http://www.worldbank.org/projects/P120198?lang=en&amp;tab=overview">http://www.worldbank.org/projects/P120198?lang=en&amp;tab=overview</a></p>	<p>詳しくはこちらをご覧ください。(英文)： <a href="http://projects.worldbank.org/P147499/?lang=en&amp;tab=overview">http://projects.worldbank.org/P147499/?lang=en&amp;tab=overview</a></p>



## 持続可能な開発目標（SDGs）

国際社会の新たな目標である「**持続可能な開発目標（SDGs）**」が2015年に国連サミットにて採択されました。今後15年の国際開発における意欲的な目標で、全ての人々に平等な機会を与え、かつ次世代のために地球環境を保護することを目指すものです。国連に加盟するすべての国は、本アジェンダをもとに2030年までに貧困や飢餓・エネルギー・気候変動・平和的社会など、具体的な17の目標の達成を目指します。



出典：[http://www.unic.or.jp/files/sdg\\_logo\\_ja\\_2.pdf](http://www.unic.or.jp/files/sdg_logo_ja_2.pdf)

## 池田泉州TT証券について

池田泉州TT証券は平成25年9月2日に開業、近畿初の地方銀行系証券会社として、池田泉州ホールディングスグループの豊富なサービスと、東海東京フィナンシャル・グループの証券ビジネスに関するノウハウを融合させた証券会社です。「おもてなしの心」を大切に、「地域の皆さまに愛される証券会社」を目指して努力してまいります。

＜SDGs推進の取り組み＞ 池田泉州TT証券はSDGsを推進するため、証券投資の日記念セミナー開催時にSDGsバッジを着用する等、社員の意識を高めるとともに、社会貢献債の販売を通じてSDGs達成に貢献したいと考えています。

## 世界銀行（正式名称：国際復興開発銀行）について

世界銀行（国際復興開発銀行、通称IBRD：International Bank for Reconstruction and Development）は、1944年に設立が合意された国際開発金融機関で、現在189の加盟国が出資し運営しています。加盟国の公平で持続可能な経済成長を目指し、地域及び世界規模の経済や環境問題に効果的に対処していくために、IBRDは中所得国に対し、貸出・保証、リスク管理サービスに加え、開発に関わる様々な分野の専門的な分析・助言サービスを提供しています。世界銀行の目標は、世界全体の極度の貧困を終結し、すべての人々が共に豊かに暮らせるよう繁栄を共有させることです。世界銀行は貸出資金を調達するために、70年以上にわたり国際資本市場で世銀債を発行しています。詳しくはウェブサイトをご覧ください。[www.seginsai.com](http://www.seginsai.com)

以上